



健康づくりについて講演する中路特任教授

## 農家・漁師も健康増進

青森で  
セミナー 禁煙など呼び掛け

農業や漁業など1次産業従事者の健康づくりを進めようと、県は21日、あおもりアグリヘルスアップセミナーを青森市内で開催。農・漁業協同組合の職員ら約40人が短命県返上と健康増進に向け、理解を深めた。

セミナーは農家や漁師の健康増進に取り組む農・漁協を県が経済的に支援する「あおも

りあぐりヘルスアップ事業」の一環。講演では、弘前大学大学院医学研究科社会学講座特任教授の中路重之さんが日本一の短命県である本県の現状につい

て解説。

特に40～60代の中年層の死亡率が高いことを挙げ「家庭にとっても社会にとっても大きな痛手。働き盛りの健康教育が非常に大切」と話した。産業別では、1次産業従事者の死亡率が最も多く、全国平均と比較しても高く推移しているとし、効果的な健康づくりのため、たばこをやめる、酒を控える、健診を受けることなどの重要性を訴えた。

(石岡大知)